

組織

> 役員一覧

(2020年6月25日現在)



理事長
土肥 和則
(員外・常勤・代表理事)



副理事長
土森 弘和
(員外・常勤・代表理事)



専務理事
舟口 憲雄
(員外・常勤・代表理事)



専務理事
高尾 博己
(員外・常勤・代表理事)



常務理事
棚橋 孝二
(員外・常勤)



常務理事
丹羽 満
(員外・常勤)



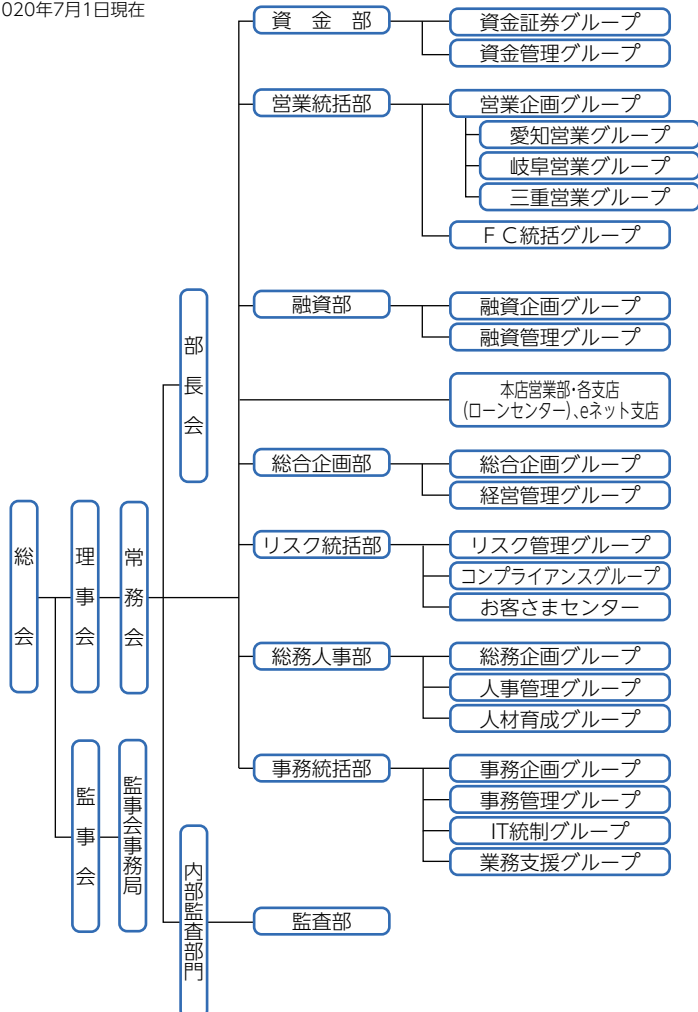
常勤理事
丸尾 隆志
(員外・常勤)



常勤理事
安達 孝男
(員外・常勤)

経営組織図<コーポレートガバナンス体制図>

2020年7月1日現在



理事

- 杉浦 栄治 (イノアック労働組合)
- 早田 明雄 (UAゼンセン愛知県支部)
- 高津 健一 (本田技研労働組合)
- 豊田 弘 (NTT労働組合東海総支部)
- 山門 真 (三重県教職員組合)
- 前田 卓幸 (員外・税理士)
- 松岡 真二 (名古屋交通労働組合)
- 吉田 珠樹 (自治労岐阜県本部)
- 小田 正亮 (キオクシア労働組合四日市支部)
- 横山 大樹 (名古屋市教員組合)
- 佐藤 正明 (日本ガイシ労働組合)
- 重田 一春 (マキタユニオン)
- 鈴木 慎 (UAゼンセン岐阜県支部)
- 中村 司 (イビデン労働組合)
- 藤田 和彦 (自治労三重県本部)
- 伊藤 久志 (NTN労働組合桑名支部)
- 大宮 満 (KVK労働組合)
- 木戸 英博 (CKD労働組合)
- 川人 哲也 (全トヨタ労働組合連合会)
- 松山 誠 (大同特殊鋼労働組合)
- 可知 洋二 (連合愛知)
- 八代 俊夫 (名古屋鉄道労働組合)

監事

- 村木 和幸 (員外・常勤)
- 光田 聡志 (トヨタ自動車労働組合)
- 三輪 伸也 (パジェロ製造労働組合)
- 山下 厚 (石原産業労働組合四日市支部)
- 山崎 拓 (員外)

●代表理事・常勤役員の内職の状況
労働金庫法第35条(兼職または兼業の制限)第1項の「内閣総理大臣および厚生労働大臣の認可」を受けて兼職を行っている常勤役員等はありません。

> 新長期ビジョン(2020年度～2029年度)

長期ビジョン

伴(とも)に歩み 共(とも)に生きる

働く人たちの生涯に寄り添い続ける福祉金融機関

あるべき姿	働く人たちの生涯パートナー	<ul style="list-style-type: none"> 人生100年時代を豊かに生きることのできる資産形成をサポート 会員・推進機構と協働し現役世代に幅広く生活応援運動を実施 セカンドライフにはきめ細やかなコンサルティングを提供し資産寿命の延長に寄与 正確、堅実な事務処理の徹底による「安心して取引できる(ろうきん)」の実現
	いつでもどこでもだれにでも	<ul style="list-style-type: none"> 非対面チャネル、キャッシュレス決済機能の充実 職種のみでなく地域への営業活動充実による生涯取引の推進 営業店、ローンセンターの機能見直しによるサービスの拡充
	やりがいと活気ある組織	<ul style="list-style-type: none"> 個々の「強み」を活かせる人員配置による「やりがい」の創出、ESの向上 多様化する働き方に柔軟に対応した「働き続けたい」職場環境の醸成
	全職員をFCへ	<ul style="list-style-type: none"> 多様化するライフプランに対応する提案型営業人材育成 店舗、エリアの枠組みを超えてFCが協働しノウハウを蓄積・継承 大規模IT投資によりBPRを促進し「事務」から「営業」へ転換 縮小するマーケットに対応するための多面的な金融サービスの提供による経営基盤の維持、強化
	経営目標	<ul style="list-style-type: none"> 資産形成額3,000億円増加の達成(金庫での資産形成者数および資産形成額をそれぞれ2割増加) 間接構成員150万人と1人あたりの預貸取引額300万円の達成(預金:2兆5,000億円、融資:2兆円) OHR:75%

> 第9期中期経営計画(計画期間2020年度～2024年度)

PLAN-S (Sustainable)

「進化」「深化」「真価」 持続可能な経営インフラの整備期間

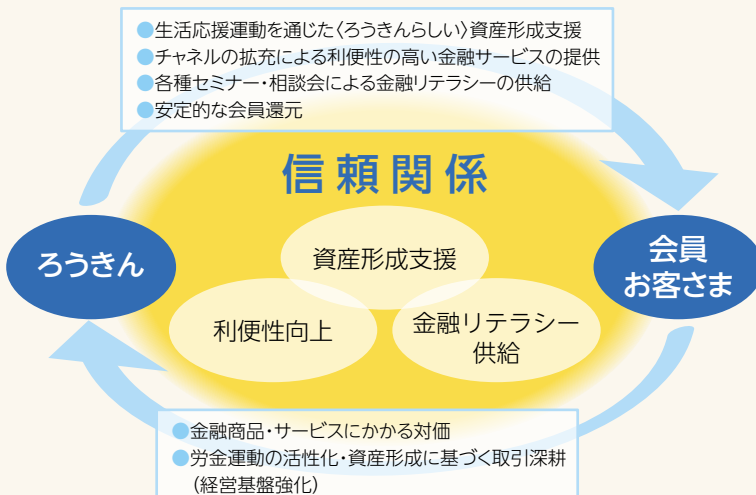
人事戦略・人材育成 多様化するニーズに応え続けられる人材の育成	働く人たちの豊かな生活の実現 会員と協働した質の高い金融サービスの提供による資産形成支援	IT戦略・事務業務改革 ITの積極的な活用による利便性の向上、事務業務改革・効率化	営業戦略 金融機関といえば「東海ろうきん」がイメージされる企業ブランディング	チャネル・店舗戦略 いつでも、どこからでもアクセス可能なネットワーク	収益リスク管理態勢の再構築 RAF(リスクアパタイト・フレームワーク)の構築と健全なPDCAサイクルの確立
---	--	---	--	--	---

働く人たちが生涯に亘って豊かに生きることのできる(ろうきんらしい)資産形成支援の確立

「いつでも、どこでも、だれにでも」利用可能な利便性の高い金融サービスの提供

ライフプランニングの基盤となる世代に応じた金融リテラシーの供給

設立20周年の「感謝」を入れた事業運営を実践するとともにより多くの「感動」、「喜び」を共感し合えるステークホルダーを拡大する



第9期中期経営計画の初年度であり、設立20周年を迎える2020年度は、「ろうきん」の「これまで」を振り返り、「これから」に向かうためのスタートダッシュとなる重要な1年です。

- お客さまが、「人生100年時代」をより豊かに、より安定的に暮らすための資産形成を(ろうきんらしく)支援する事業運営を実践・確立します。
- ろうきんアプリを中心とした利便性の高い金融サービスを提供することで、「いつでも、どこでも、だれにでも」便利にお使いいただける(ろうきん)を目指します。
- お客さまのライフステージに合わせて各種セミナーや相談会の内容を充実させ、金融リテラシーの供給と資産寿命の伸長に寄与します。

そして、これらの成果が金庫の経営基盤強化に繋がりが、会員還元、お客さまへのサービス提供を持続可能なものとすると考え、役職員一人ひとりが全力で取組みます。

実践にあたっては、「ろうきんFC」を中心とするコンサルティング人材の育成、ITを活用したBPRの促進による事務パワーから営業パワーへの転換を図り、お客さまと向き合い、信頼関係を構築する機会の創出・拡大に取組みます。